

74. 7. 15

こぶし

-1-

★夜間部統発合粉砕!
★学費値上げ白紙撤回!
★沖縄併合反対自決擁持!

7月15日号
通刊9号
発行明治大学戦線連絡先図書館蔵

72年沖縄併合反対以降、日本帝国主義者による沖縄併合・同化攻撃は、日本人の農園地領・民族排外主義への国民統合ヒングアへの侵略・抑圧・反革命戦争への準備と重ねしそれをあじてかりに進行している。日本独占資本による、沖縄本島の2倍もの物価上昇を生み、沖縄経済を破壊し、沖縄の独自な文化、言語と日本へ同化・抹消されんとしているのである。まだ米軍基地の占有率は連段にみつ、「島は沖縄」はより強化・合理化されアジアへの侵略・抑圧・反革命戦争の終点と化しているのである。

日本独占資本の頭目・自衛隊幹部として沖縄海軍、新知事らを推進メンバーとする75年沖縄海洋開拓・日本フルジニアジーの運命の道・海底・海洋資源開拓、アジア侵略をくらんだ軍事基礎の合理化といつ得割以上に何よりも沖縄人民への侵略・反対であると想えなければならぬ。

(1) 沖縄併合反対運動と対決する全ての憂國衛生士同学会講りある
明大夜間部の同志、友人たち!
72年沖縄併合反対以降、日本帝国主義者による沖縄併合・同化攻撃は、日本人の農園地領・民族排外主義への国民統合ヒングアへの侵略・抑圧・反革命戦争への準備と重ねしそれをあじてかりに進行している。日本独占資本による、沖縄本島の2倍もの物価上昇を生み、沖縄経済を破壊し、沖縄の独自な文化、言語と日本へ同化・抹消されんとしているのである。まだ米軍基地の占有率は連段にみつ、「島は沖縄」はより強化・合理化されアジアへの侵略・抑圧・反革命戦争の終点と化しているのである。

したがつて北の攻撃の下で、沖縄人民の不屈の争いは更に古めかし軋轢復帰運動に増加し、更に自衛隊・日本軍の基礎運営につき、「島は沖縄」はより強化・合理化されアジアへの侵略・抑圧・反革命戦争の終点と化しているのである。

日本独占資本の頭目・自衛隊幹部として沖縄海軍、新知事らを推進メンバーとする75年沖縄海洋開拓・日本フルジニアジーの運命の道・海底・海洋資源開拓、アジア侵略をくらんだ軍事基礎の合理化といつ得割以上に何よりも沖縄人民への侵略・反対であると想えなければならぬ。

7.20 沖縄海洋博覧会開幕式
総力ともじて勝利せよ!

(2) 夜間部学生として平和をめざしていりるのである。

日本独占資本の頭目・自衛隊幹部として沖縄海軍、新知事らを推進メンバーとする75年沖縄海洋開拓・日本フルジニアジーの運命の道・海底・海洋資源開拓、アジア侵略をくらんだ軍事基礎の合理化といつ得割以上に何よりも沖縄人民への侵略・反対であると想えなければならぬ。

日本口刊の内 容
「20 沖縄海洋博覧会開幕式
11月12回公判斗争
島嶼さん解雇撤回支援集会
大衆路線の建設(黒田真輔)
投票
「夜間部学生の運動活動」
(先月より続く)

明大夜南部の学友諸君へ

1) 夜学に斗争公判に注目してくる
業受ける者等兄弟連

2) 国公判斗争の報告と共に、

勝利へと共に斗れん事 やは國公

判への結果を語りみけだい。

新入生、三周年の講演の多くは
72年11月19日国公判も値上げ教職員

説明集会介入斗争を全く知らなか
でないか、ありまつて發表をし
た形が知らぬでござる様である
事を我々は解説いたします

に年学に値上げ阻止闘争の先頭
で斗り抜いた我々の仲間たちを參
照權力に突り貫いたもの12年11月
19日の大難狂を想像に当選は、最

終の結果を語りみけだい。
事務室の交渉をはつきり
身固めれば困ります。
常時100名の結果をも
つて断手として斗り
抜かれている。

今固は三回目の機
事務室人等間で、當
時 中野署の警備課
長皆川金之助に対する
抗議であります。首
三は「被告」一件設
人に對して、急ぎか
と當局者と争ひ、学生を

自ら毎活動の破壊

の生活をくものを破壊する事と平
然とやつてつけたのである。今回

現在彼ら当局は依然として唇舌り、
生を續け、再々度、赤字キャン
ペーンを行なう、夜南部統管のの
メルリマールとして労費再値上げ
を準備しているのである。

標榜する手段を算り、當局者に警
備体制を指示してした事を宣言し

た。これは明うろく「建造物不法侵
入」「暴力業務妨害罪」の罪を作らん
が為であり、意図的にしくんだ

74.7.15

物価高騰 インフレ統制經濟の進

行は直接的に夜南部に及ぶ我々の

生活を破壊している。大學はより

金持ちしへ入学出来るの情況にあ

うんとしている。

特權的るものへと変質し、もはや

金持ちしへ入学出来るの情況にあ

うんとしている。

今固は三回目の機
事務室人等間で、當
時 中野署の警備課
長皆川金之助に対する
抗議であります。首
三は「被告」一件設
人に對して、急ぎか
と當局者と争ひ、学生を

7月19日 やは國公判に出席し
於て大難狂者への糾弾の嵐をわ
きおこさうではないか、

5月17日付の解雇通告書の内容は
① 卯總やうの集団就職者三千余人
に割回に亘つて「卯總人労働者の
团结と権利を申る所から」と訴えだ
シラを請求書で送りだしたこと。

明大化戦線の旗の下、夜南部學生は
田舎へ、斗争を定め、

オ13回 7月19日(金) 時刻
午後6時 地鐵線地下車
9月6日(金) 東京地下鉄又霞

あくまで我々は警察権力へ大學
に對して就職者をう大難狂の表本
人へ糾弾の嵐をまきおこした事は
言ふを得ないであろう。

専門庄であつた事である。この
に對して就職者をう大難狂の表本
人へ糾弾の嵐をまきおこした事は
言ふを得ないであろう。

専門庄であつた事である。この
に對して就職者をう大難狂の表本
人へ糾弾の嵐をまきおこした事は
言ふを得ないであろう。

74.7.15

-5-

こばし

係長「君に配達の方全般を委
けらつこらつて、M氏
に正社員としての本業の
仕事、商業活動をやつこ
とらうよくな体制にし
てやきたいんだな」
高柴「かなり無理があるな、
でさうだけ、やつてみる
係長「とにかく考えておきま
す。今月中に結論を出す
よつにしたいと思いま
す。今月中に結論を出す
産業としこは、無理のよう
あるとの係長の返答。
七月下旬 M氏に交番
M氏「具体的な要求額は?」
高柴「一日三,〇〇〇円です」
M氏「君の今後の勤務予定は
す」
高柴「来年三月まで勤務しま
す」
M氏「D産業としこは、みな
り無理な状態であるな、
とにかく固き括こには、
しないつもりです。考え方
をおもえず」
八月 日 D部長との話し合い
となりいろいろな、D産業
内部の諸問題が語られる。

六月末

よつにしたいと思いま
す。今月中に結論を出す
よつにしたいと思いま
す。今月中に結論を出す
産業としこは、無理のよう
あるとの係長の返答。

七月下旬 M氏に交番
M氏「具体的な要求額は?」
高柴「一日三,〇〇〇円です」
M氏「君の今後の勤務予定は
す」

高柴「とにかく固き括こには、
しないつもりです。考え方
をおもえず」

六月末

よつにしたいと思いま
す。今月中に結論を出す
よつにしたいと思いま
す。今月中に結論を出す
産業としこは、無理のよう
あるとの係長の返答。

七月下旬 M氏に交番
M氏「具体的な要求額は?」
高柴「一日三,〇〇〇円です」
M氏「君の今後の勤務予定は
す」

高柴「とにかく固き括こには、
しないつもりです。考え方
をおもえず」

いろいろ話してやく中で、仕事の
きつき、不満、様々なる、ぶんぶん
の気付かない点があつたことのみわ
なつた。そこで、この要求額が入
れられなければ、「やめる」とい
う態度に出るといった、せうはつ
まつた状態にある自分を客観視す
ることをやめた。ここが一つ、やめ
り方々ままで、という、尋求の出
し方に誤りがあることなかつた。
就所条件改善の問題としこ出して
ゆくべきであり、賃金の問題は、
揮權の問題、遅刻の問題、昼休み
の問題など、それはそれとして
休私といつ要求は三,〇〇〇円の要求
が入れられた場合、果たして出てき
たり、それほど多くはないが、
いつの問題がなくともし
になつては、結局、解決
されたようで何も解決さ
れないんじやないのな。ど
君は遠慮しなくていいような
ところを遠慮してしまふようなど
ころがあるんじやないな。ど
ヒドライに割り切つて、物事に対
応してゆく姿勢といつとの必要
性があらんじやないな。ど
反面、問題がコタコタ紛糾しこきだ
ら、「ええい、めんどうだ、やめらや
えしといつだ、ふこくされたよつな
ところがあつた」

このようにして、当初の要求額は
議つていつたわけであるが、その理
由は、自分は、これならとやってゆ
くであろう自己変革の契機のような
うあるので、そのへんのところ
をもう少し考えてくれないだろう
か」

高柴「なるほど……それではと
う一つ、こうら側なら 同頃、一
ヶ月ほど休職するということを条件
にして、三,〇〇〇円という額は

「トロバード」を読もう
発行 明治大学企戦線
価格 二〇円

